

平成30年度 かながわティーチャーズカレッジ スタート!

開講式

平成30年8月5日(日)、神奈川県立総合教育センターにおいて、「かながわティーチャーズカレッジ」開講式と第1回かながわ教育学講座が開かれました。平成30年度かながわティーチャーズカレッジは、オープンコース133名、チャレンジコース(小学校)129名、チャレンジコース(特別支援学校)13名、チャレンジコース(中学校英語又は高等学校英語)12名の計287名が受講します。午前中の開講式では、県教育委員会桐谷教育長より、「カレッジでは、個々の知識や技能を高めるとともに、同じ志をもつ仲間



と協力して働くことの大切さを学んでいただきたい。多様な他者と協働して、社会を生きていくことを教えるのが教育の土台である。子どもたちのためにという思いで最後まで頑張っていたいただきたい。」と励ましの言葉をいただきました。

また、カレッジ長を務める総合教育センター田中所長からは、世界からみた日本の教育や教員の状況を通して「教員の使命とは、よりよい学校教育を通してよりよい未来をつくること。様々な困難に立ち向かうこともあるが、教員としての自覚があれば、思いは揺るがない。カレッジでの学びを通して学校教育に携わる者としての、自覚を深めていただきたい。」と、教員の使命について話がありました。開講式での話を聞き、教員になりたいという思いや、これからカレッジ生として学んでいく思いが、一層高まったのではないのでしょうか。

また、カレッジ長より各コースの代表者4名に、受講証が授与されました。緊張した面持ちで受講証を受け取る代表者を、他の受講者も真剣に見つめ、会場にいた全員の方に、これから始まるティーチャーズカレッジへの期待と意欲が、あふれていました。



桐谷 次郎 教育長



田中 俊穂 所長

担当職員の紹介

開講式に続き、グループ担当者、カレッジ事務局の紹介がありました。始業式で子どもたちと担任が出会う時を思い起こさせるような光景で、受講者もグループ担当者も、笑顔の中に引きしまった表情が見られた瞬間でした。新たな出会いは、自分を大きく広げるチャンスととらえ、これからのカレッジに取り組んでほしいと思います。



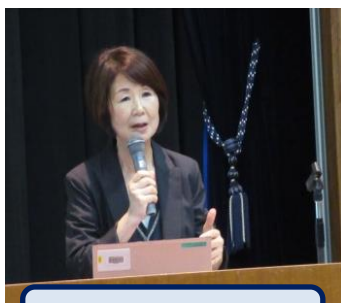
スクールライフサポーター任命式

チャレンジコースの受講者を対象に、「スクールライフサポーター任命式」が行われ、任命書が渡されました。スクールライフサポーターとは、受講を希望する校種の学校に派遣され、原則として平日に週1回程度、同じ場所で継続して活動し、教育活動を支援するものです。ぜひ派遣先の学校で、積極的に子どもたちや先生方と関わり、教員として働くことの魅力を肌で感じ、講義だけでは学ぶことのできない経験を積んでいただきたいと思います。



第1回かながわ教育学講座

記念講演「未来社会で輝く子どもを育てる」



笠原 陽子 氏

午後は「第1回かながわ教育学講座」が開催されました。神奈川県教育委員会委員である笠原陽子氏を講師に迎え、「未来社会で輝く子どもを育てる」と題し、記念講演がありました。「子どもの育ちに責任をもつこと。子どもの正常な適応を促進し、心理的・精神的な安定をもたらす環境、社会との調和が目指せる環境をつくることを常に考えなければならない。教師は子どもにとって大きな教育環境であり、教師の後ろ姿を子どもは見えて育つ。子どもたちの人生に関わる教師として、人の一生に対する発達的な働きかけを、視野と見通し、自覚と責任をもって行っていくことが大事である。」と話がありました。自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子どもたちを育むためにも、教員は学び続けることが大切です。これからの社会を担う子どもたちを育む自覚をもち、責任をもって関わっていくことの重要性を考える貴重な機会となりました。

グループ活動

講義の後は、各グループごとに分かれ、初回のグループ活動が行われました。はじめは、初対面の人ばかりでどこちなく進んでいた活動も、自己紹介や講義の振り返りなどをする中で、徐々に打ち解け、緊張もほぐれていったようです。どの研修室からもグループ担当者からの熱のこもった講話や、受講者同士が活発に意見交換する様子も見られ、すでに学校のクラスのような温かい雰囲気と一体感を感じました。これからのカレッジの学びで、最も密に接していくことになるグループ担当者と、共に学ぶ仲間たちです。仲間とともに、切磋琢磨しながら力をつけていってくれることを期待しています。

